

科目名 (科目番号)	成人看護学概論 (時間割参照)	教員名	吉田和美	学科等	看護	必修	履修年次	1
				曜日・時限等	時間割表参照		単位数	2
				授業形態	講義	オフィスアワー		授業開始時指示
授業概要	成人期にある人々の成長発達の特徴について理解し、成人の生活と健康に関する基本的知識を基盤にして、成人期のライフスタイルや環境から生じる健康問題と健康レベルに応じた看護のアプローチ方法を学ぶ。成人期の特徴を踏まえ、家庭や職場・地域社会で様々な役割を持つ人々の日常生活及び健康、健康障害に対する理解を深め、成人期にある人々を支援する看護について理解する。							
目的・目標	目的:多様に変化する社会の中で生きる成人期の人々の健康と看護を理解するうえで必要となる知識、理論、看護の概要について理解する。 目標 :①発達、自律、家族、社会、文化の視座で成人とは何かを理解できる。 ②成人を取り巻く状況について理解できる。 ③成人期にある人を看護するための基本的考え方が理解できる。							
準備学習	毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること。							
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容					
	1	成人期の特徴	到達目標:「成人」の定義とライフサイクルにおける成人期の位置づけを理解する。 学習内容:人の一生における成人期について学修する。					
	2	成人期の発達課題の特徴	到達目標:青年期・壮年期・向老期の身体的・心理・社会的特徴を理解する。 学習内容:成人期の発達課題の特徴について学修する。					
	3	成人の社会環境と成人の生活	到達目標:成人期にある人の労働環境や日常生活の変化について理解する。 学習内容:社会環境の中での成人の役割と責任について学修する。					
	4	成人期にある人の健康①	到達目標:成人各期の健康問題と保健・医療・福祉に対する政策を理解する。 学習内容:成人の健康の動向と保健・医療・福祉政策について学修する。					
	5	成人期にある人の健康②	到達目標:生活習慣病、職業疾患、ストレスに関連する健康障害について理解する。 学習内容:生活習慣に関連する健康障害について学修する。					
	6	成人期にある人の看護の基本的視点①	到達目標:人間関係の構築、適応の促進、意思決定の支援について理解する。 学習内容:健康障害を持つ成人に関わる際の基本的な視点について学修する。					
	7	成人期にある人の看護の基本的視点②	到達目標:健康学習支援、自己効力、アンドラゴジーについて理解する。 学習内容:健康行動への行動変容支援について学修する。					
	8	健康の保持増進のための看護	到達目標:健康行動理論、生活習慣病の予防、特定健康診査について理解する。 学習内容:健康の保持・増進、疾病の予防に向けた看護について学修する。					
	9	急性期にある患者と家族の特徴と看護	到達目標:危機的状況の支援と、治療と意思決定への支援について理解する。 学習内容:急性期にある人の健康問題の特徴と、看護の基本について学修できる。					
	10	救急看護・クリティカルケア看護	到達目標:クリティカルケアの状態の患者のアセスメントと看護の基本を理解する。 学習内容:救急看護・クリティカルケア看護を学修する。					
	11	リハビリテーションの特徴と看護	到達目標:生活の再構築の支援方法と障害の受容ついて理解する。 学習内容:リハビリテーションと、生活機能障害を有する人への看護を学習する。					
	12	慢性疾患がある患者と家族の特徴と看護	到達目標:慢性状態にある患者のセルフケアへの看護について理解する。 学習内容:慢性期にある人の健康問題の特徴とその支援方法を学修する。					
	13	慢性疾患がある患者と家族の特徴と看護	到達目標:慢性状態にある患者の臨床推論について理解できる。 学習内容:慢性期にある人の症状の特徴とその看護について学修する。					
	14	がん治療を必要とする人への看護	到達目標:患者の抱える苦痛、生活上の困難、治療と看護について理解する。 学習内容:がん治療を受ける患者の看護を学修する。					
15	人生の最期の時を迎える人への看護	到達目標:緩和ケア、エンド・オブ・ライフケア、臨死期の看護について理解する。 学習内容:終末期にある人の健康問題の特徴とその支援方法を学修する。						
成績評価の方法・基準	対面時：筆記試験での評価を70%、演習・レポート課題・小テストでの評価を30%とする。 オンライン時：小テスト60%、レポート40%とする。							
教科書	成人看護学 成人看護学概論 改訂第5版 成人看護学 急性期看護Ⅱ クリティカルケア 改訂第4版 根拠がわかる疾患別看護過程 改訂第3版 根拠がわかる症状別看護過程 改訂第4版 がん看護 改訂第2版			林 直子/鈴木久美 佐藤まゆみ 他 新見明子 百瀬千尋 他 鈴木久美 他			南江堂 南江堂 南江堂 南江堂 南江堂	
参考図書	国民衛生の動向			一般財団法人 厚生労働統計協会				
教員からのメッセージ	授業内に小レポートを行った場合は、コメントを付して授業内で返却します。 昨年度の授業評価アンケート結果に基づく改善を施します。 この授業は、総合病院・大学病院で実務経験のある看護師がこの授業を担当します。 オンライン授業に伴い授業計画に変更がある場合は、オンラインクラスで変更のシラバスを周知いたします。							

科目名 (科目番号)	()	教員名		学科等			履修年次	
				曜日・時限等	時間割表参照		単位数	
				授業形態		オフィスアワー		
授業概要								
目的・目標								
準備学習								
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容					
	1							
	2							
	3							
	4							
	5							
	6							
	7							
	8							
成績評価の方法・基準								
教科書								
参考図書								
教員からのメッセージ								

科目名 (科目番号)		()	教員名		学科等			履修年次	
					曜日・時限等	時間割表参照		単位数	
					授業形態		オフィスアワー		
授業概要									
目的・目標									
準備学習									
授業計画	回	授業項目		到達目標・学習内容					
	1								
	2								
	3								
	4								
	5								
	6								
	7								
	8								
	9								
	10								
	11								
	12								
	13								
	14								
	15								
	16								
	17								
	18								
	19								
	20								
21									

	22			
	23			
	24			
	25			
	26			
	27			
	28			
	29			
	30			
成績評価の方法・基準				
教科書				
参考図書				
教員からのメッセージ				

科目名 (科目番号)	()	教員名		学科等			履修年次	
				曜日・時限等	時間割表参照		単位数	
				授業形態		オフィスアワー		
授業概要								
目的・目標								
準備学習								
授業計画	授業項目		到達目標・学習内容					
成績評価の方法・基準								
教科書								
参考図書								
教員からのメッセージ								